

3. 祇園祭山鉾町・山伏山町文書調査の成果

竹中 友里代

1. 山伏山町文書の調査状況

山伏山町文書の調査は、2016年4月から始まり、はや4年が経過している。3回生の古文書の整理実習（文化情報学実習）を大学院生（歴史情報学演習）が指導し、現状の記録・目録採取・写真撮影等のそれぞれの作業の段取りを学生自ら考え進めるかたちでおこなってきた。現在借用中の古文書の目録採取がおおよそ終了しており、その全体像は表1に示した通りである。文書の総点数は1444点に及ぶ。

毎年8月23日、町内の方が集まる地藏盆の場を借りて、各学年の院生が報告をおこなってきた。2016年8月には「円地藏菩薩縁起」1巻について、収納箱記録・翻刻・語句解説・現代語訳等をそなえた報告書を作成し、当日は概要を配布して説明した。

2016年3月に借用した木箱2箱分と段ボール箱の2箱分の古文書については、2017年と2018年の8月に中間報告をおこない、すでに返却している。また2016年7月、土蔵の天井裏から発見された木札なども、2017年に報告、返却している。

現在借用中の古文書は、2016年7月12日に土蔵奥から古文書用筆筒が見つかり、筆筒の収納部分を引出し1～8として、中性紙箱4箱分に仮収納している。

表1 山伏山町文書整理状況

	点数	備 考
円地藏菩薩縁起	1	2016年8月報告済
箱1	252	2017年8月報告・返却済
箱2	236	
箱3	97	2018年8月報告・返却済、中性紙箱に入替
箱4	48	
天井御札	11	2017年8月報告・返却済、段ボール箱に入替
引出し1	26	中性紙箱4箱に仮収納。2020年3月返却予定
引出し2	160	
引出し3	35	
引出し4	12	
引出し5	365	
引出し6	118	
引出し7	32	
引出し8	51	
全体	1444	

2020年1月現在

2. 京都府立京都学・歴彩館におけるパネル展示

現在借用中の文書は箆笥に収納されていた文書で、2020年3月末の一括返却に向けて、目録の精度を高めるべく作業中である。

さらにその成果を一般に公開しようと、京都府立京都学・歴彩館1階の京都学ラウンジにて、パネル展「山伏山町文書の世界」を企画した(図1、写真1・2)。調査の概要、古文書の整理方法から浄蔵貴所と聖護院、円(夢あわせ)地蔵、蒟蒻版、七条仏師等のテーマについて解説をおこなった。とりわけ今回の解説には、三組学務委員からの通達や地方税納入領収書等の近代の小さな紙片に至るまでデータ化することで、より具体的な町の営みが明らかになった。今後は各山鉾町の古文書原本の目録化、公開による保存と幅広い活用を期待する。

なお、パネル作成に際して、山伏山町・祇園祭山鉾連合会ははじめ多くの識者のご協力をいただいたことを記しておく。

■日時

2020年

1月9日(木)~2月2日(日)

平日:9時~18時

土日:9時~17時

休館日:1月13日(月・祝)

■場所

京都学・歴彩館

1階 京都学ラウンジ

京都府立大学文学部歴史学科では、2016年度より、祇園祭の山鉾町山伏山町の古文書を整理し、目録が完成しました。その成果を浄蔵貴所と聖護院、円地蔵、蒟蒻版、七条仏師等のテーマでパネル展示します。

協力:京都府立大学文学部歴史学科
問い合わせ:京都府立京都学・歴彩館
京都学推進課 075-723-4835

図1 パネル展チラシ

京都学ラウンジ 山伏山町文書の世界 パネル展



写真1 パネル展会場設営作業



写真2 パネル展会場風景